

平成29年6月5日付

日刊建設工業新聞

## 舗装洗浄剤を発売

大林道路

大林道路は2日、各種化成品や化学関連資材を販売する三洋化成品（千葉県印）と共同で舗装用洗浄剤を開発した。

アスファルト乳剤や機械油の汚れに対応するEは、石油由来のミネラルスピリットと界面活性剤が主成分。原液を洗浄面に塗布すれば、石油成分が脂分を溶かし、界面活性剤によって乳化・洗浄される。石油系付着した油、タイヤ痕などの汚れに洗浄剤を塗布するだけで、容易に除去することができます。5月から販売ができる。5月から販売しておらず、同社の施工現場でも導入している。

道路の舗装や区画線上などの道路付帯設備、舗装機械などで油やアスファルト乳剤、さび、タイヤ痕などのが一般的だ。しかし舗装汚れが発生した場合、各種洗浄剤を使い、ブランシングなどで強力にするなどの対応が一般的だ。しかし舗装汚れに特化した洗浄剤はない。



キレイザーでの区画線の洗浄前と洗浄後



ると、舗装と汚れの間に浸透して汚れが浮き上がり、布などで拭き取ることができます。

アスファルト乳剤や機械

油の汚れに対応するEは、石油由来のミネラルスピリットと界面活性剤が主成分。原液を洗浄面に塗布す

るため、アスファルト舗装には使用できず、プロック

やコンクリート舗装、機械

類の洗浄に適している。

販売価格は、Sが500ミリ升のスプレー容器（原液167ミリ升入り）で450円、4升ポリ容器で3万円、Eが4升缶で2万円、18升缶で3万円。

「E」の2種類があり、舗装のさまざまな汚れに対応する。油やさび、タイヤ痕など舗装の一般的な汚れに

対応するSは、非イオン系界面活性剤などを主成分と

する。原液を3倍に希釈してハンドスプレーで噴霧する。活動を展開し、年間売上高1000万円を目指す。

今後は工場を中心、舗装会社や建設会社、リース・レンタル会社などへ販売活動を展開し、年間売上高1000万円を目指す。